



学校だより



2022年10月31日

横浜市立港南台第一小学校

11月号

Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp Tel 832-0210 Fax 832-7771

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/konandai/>



個を尊重し 集団で育てる

副校長 竹端 岳

10月22日のスポーツフェスティバルで、偶数学年限定ではありますが、久しぶりの演技種目が行われました。3年ぶりですから、1～3年生に長子がいる保護者の方は、初めてご覧いただいたこととなります。

2年生の軽快な音楽に合わせたリズムダンス、本当に演技を楽しんでいる様子からその笑顔が伝わりました。4年生の用具を操作する演技では、それぞれの技を高めることで1つの世界観を体現することができました。6年生の集団行動、シンプルな動きの中にも緻密に計算された組み合わせは圧巻でした。そして打って変わって力強い「ソーラン節」…。参観された皆様の目にはどのように映っていたのでしょうか。

ここ2年半のコロナ禍のために、集まって、交わって活動することがなかなかできなかった学校では、国の政策であるGIGAスクール構想の下、1人1台端末の導入が当初より早まりました。タブレット端末を用いて一人ひとりが課題に取り組み自ら調べて発表したり、学習進度に合わせたAIドリルで基礎を伸ばしたりするなど、「個別最適な学び」の実現に向けて進んでいった2年半でした。

しかし、学校教育は「個」だけでは成し遂げられないことがいくつもあります。友達と意見を交わして考えを深めたり、共通の目標に向かって役割を分担し、協働したりすることは、集団の中で達成されるものです。その中では、当然「個」の考えだけが通るわけではなく、自分の主張を一旦引っ込めて他人に合わせてたり、意にそぐわないものを受け入れたりしなくてはならない場面に出合います。集団生活において自他のバランスを考え、調整していく。これも生きていく上では大事な力です。

今回のスポーツフェスティバルにおいても、学年競技、演技づくりのためにがんばる子どもたちの姿がありました。この中には集団に合わせるのが苦手だったり、そもそも集団になじめなかったりする子どもがいるのも事実です。そのような個人の特性に配慮しつつも、皆で1つのものをつくり上げることの喜び、大切さを学んでほしいと、職員一同で支援にあたりました。

輝く瞳でひたむきに舞っている子どもたちの姿に、少なからずわたしたちは心動かされました。今後も学校では合唱・合奏、音読劇、学習発表など、集団で表現する機会があります。その子のもつ「よさ」を生かしつつ、それらが調和して一体となった表現、作品になるよう、これからも育んでまいります。

令和4年度 一小 スポーツフェスティバル



10月22日に一小スポーツフェスティバルを行いました。
どの学年も輝いていました！

(1年生)

- 1組 たまいれで、みんなががんばって、1いになってよかったです。かけっこで、ぬかされちゃったけど、ゴールできてよかったです。
- 2組 かけっこで、いっぱいはしれた。たまいれで、いっぱいたまをいれた。スポーツフェスティバルをさいごまでのしめた。
- 3組 チェッコリダンスをがんばりました。ぜんりょくそうがたのしかかったです。たまいれのおかたづけきょうそうもたのしかかったです。



6年生は係活動で、
スポフェスを盛り上げました！！

(6年生) 盛り上げ係では、緊張感と責任感があつたが無事に取り組むことができた。集団行動では、何回も練習し、全員で成功することができた。ソーラン節は自由時間を使って振付を覚え、練習より上手にできた。努力して何かを成し遂げることの大切さをこのスポフェスで学ぶことができた。



1・3・5年生は団体競技、2・4・6年生は演技をしました。
各学年、工夫が盛りだくさんでした！！



全力走、「よーい、どん!!!」
力を出し切って走りました。



保護者ボランティアの皆様、
ご協力ありがとうございました。

